

愛教組連合 女性部報

第2号

第2回女性部長会

6月4日(火)、第2回女性部長会を開催しました。

- ・ 機関誌「はりみち」NO. 74の発刊について
- ・ 第71回愛知父母と教職員の会について

第71回 愛知父母と教職員の会

「21世紀をになう子どもたちのために 一育もう 自分らしく生きる力を」をテーマに、本年度も愛知父母と教職員の会を開催します。

【愛知父母と教職員の会】

「愛知父母と教職員の会」は、母女運動として行われていた「母と女性教職員の会」がもとになっている。母と女性教職員の会は、1954年、「お母さん、日本の子どもを守りましょう」「お母さんの体を守りましょう」と母と女性教職員が手をつなぐ運動の原点となるアピールを採択したことにより始まった。子どもを思う気持ちは親も教職員も同じであり、戦後の厳しい時代に子どもたちの幸せを願い、手を取り合って立ち上がったものである。その後、ジェンダー平等の観点から父母とすべての教職員で手を取り合って子どもたちの幸せを願おうという思いのもと、2023年度より名称を変更した。

日 時：10月12日(土) 13:00～

場 所：名古屋国際会議場(レセプションホール)

<全体会>

- ・ 提案 「一人ひとりが自立し、ともに生きる力をどう育てるか
—自分らしく生きることを考える実践を通して—」

・ 講演

講師 おおたわ 史絵さん

(総合内科専門医・法務省矯正局医師)

演題 「はじめの一步 ～子どもたちの健全な成長のために～」

<分散会>

- ・ 意見交換



ジェンダー平等教育推進委員会

5月17日(金)、第1回「ジェンダー平等教育推進委員会」を開催しました。昨年度の研究の概要が報告されるとともに、本年度の実践計画が提案されました。



本年度の授業実践計画について

◆ 中学校2年生の実践 (佐々木愛教組連合女性委員)

「自分らしさを大切に、

自分の生き方を考えることができる生徒の育成」



佐々木愛教組連合
女性委員

男女共同参画社会の実現に向けて、一人ひとりが自立し、自分らしく生きることを考える実践を行います。対象学年は中学校2年生です。本研究を通して、自分らしさを大切に、自分の生き方を考えることができる生徒を育成したいです。生徒たちが、固定観念にとらわれず、自分自身の興味や能力にもとづいた進路選択ができるようにするために、ジェンダーバイアスに気付き、一人ひとりのよさを生かした役割を行うことの大切さを理解し、自分らしい生き方について考えることができるように、総合的な学習の時間や学級活動、道徳の授業で実践に取り組みます。

* 授業実践の報告は、第71回愛知父母と教職員の会にて行います。